

NewJ-BARの材料品質に関する検査結果 (WD32N)

2009年4月3日
北越メタル株式会社

1. 目的

本試験は、開先付き異形棒鋼(WD32N)の機械的性質を確認するため実施したものである。

2. 試験体

- (1) 名称 : 開先付き異形棒鋼(New J-BAR)
- (2) 種類 : WSD390
- (3) 呼び名 : WD32N
- (4) 数量 : 各3本

3. 試験内容

- (1) 試験方法 : 建設省告示第1446号 四・鉄筋 法第37条第2号の品質基準に規定する測定方法に準じる。
- (2) 試験日 : 2009年3月31日
- (3) 試験場所 : 北越メタル(株)分析センター
- (4) 試験装置 : 引張試験機はUH-100A(島津製作所製)を用いた
- (5) 試験責任者: 松原光成(品質保証部長)
- (6) 試験担当者: 佐藤昌和(最終検査員)

4. 試験結果

(1) 引張試験

種類・呼び名	断面積 mm ²	番号	降伏荷重 kN	降伏点 N/mm ²	最大荷重 kN	引張強さ N/mm ²	降伏比 %	伸び %	破断位置
WSD390・WD32N	794.2	1	377.0	475	499.5	629	75	23	A
		2	375.5	473	500.0	630	75	19	B
		3	374.0	471	499.5	629	75	22	B
製品規格	—	—	390 ~510	—	560以上	80以下	17以上 (14A号)	—	
備考	溶鋼番号: 84901 断面積は、WD32Nの公称断面積である								

(2) 曲げ試験

種類・呼び名	試験片 番号	番号	曲げ半径 2.5d	曲げ角度	合否	
					節側	開先側
WSD390・WD32N	2号	1	79.5mm	180°	合格	合格
		2	79.5mm	180°	合格	合格
		3	79.5mm	180°	合格	合格
備考	溶鋼番号: 84901 dは、WD32Nの公称直径である					

5. まとめ

全ての試験体は、製品規格で規定する引張試験及び曲げ試験の基準値を満足している。

6. 引張試験及び曲げ試験後の状況写真



写真1. 引張試験後の状況



写真2. 曲げ試験後の状況(180° 曲げ)